BI-SEMANARIO
No. 827 - S. PAULO 10 DE OUTUBRO DE 1932

Noticias do Brazil

Director-Proprietario SEISAKU KUROISHI

Redacção e Administração
Rua Fagundes No. 16 - Teleph. 7-4670

伯剌西爾時報

本紙一週二回發行

發行所 聖市ファグンデス街一六 電話七―四六七〇 郵函H
伯剌西爾時報社

購讀料 壹ヶ月 參ミル 半ヶ年 拾六ミル 壹ヶ年 參拾ミル

△一事一言▽

州間の親善を望む

伯國に於ける護憲革命も、愈々本月に入つて終熄した、官革兩軍の折合が何う着くかと、一般に危ぶまれたが、案ずるよりも產むが安しで、軍人同志の話合から、媾和の條件などに拘泥せず、さつさと撤兵を實行して和平に歸せしめしは、有繋にブラジルだと感嘆せざるを得ないのである。

固々内亂とか革命とか云ふものは、謂ば一家内の揉事の如なもので、親父と息子とが衝突を起した場合、家族は仲間に立つて引分ければ大概收まるものであるが、さうでなくして、家族が衝突者の孰れかに加擔したり、若くは二派に分れて是非を爭ふ場合は、そこに火花が散り、怪我人も出來るものである。

表看板は憲法擁護運動であつたから、何も兵力に訴へずとも、堂々と言論戰で行つたなら他州にも次第に共鳴者が多く出で、目的を達するに其の方が却つて捷徑であつたらうに、何う云ふ具合か暴其處に出ずして、州民一致、即時憲法實施に熱中したので事重大となり、而かもそれが作戰の齟齬から時日が長曳き遂に失敗を招くに至れるは、抑もそれは、何人の責任に歸すべきものであらうか。

クリンゼル將軍は『今度の失敗は自分の責任だ』と言ひ、ペドロ前統領は『今日あるは既に承知してゐた』と言つてゐるから此の文武兩頭目の責任は固より當然なりとしても、事の玆に至れる原因から考察して見ると、州民全體が負はねばならぬ責任であるかのやうに思はれる、何んとなれば、今度の革命は、近眼的に見るなら護憲革命に相違なきも、少しく眼を遠く放つて之を見るなら、武斷派と文治派との軋轢であつて、聖州の文治派が聯邦政府の武斷政治を嫌ひ州民援助の力で之を排斥せし處に軍人の憤濫を買ひ、遂に今度の失敗を招ける跡が見ゆるからである。

倘、も一つ州民として責任を負はねばならぬことは、聖州は天惠豐かにして物資の供給多く、經濟力も亦他州に優れる處から自然自負心が高まり、サンパウロなかりせば伯國を如何にせんと云つた風の見ゆる處から、動もすると他州から嫉視さるゝの傾きがあつたが、是れも今度の革命に禍ひを爲し、南大河州及びミナス州人等の、聖州護憲運動に合流することの遲く、爲めに大なる不利を招けるには非ざるか、若し然りとせば、是又聖州人の責任として反省すべき事柄でなくてはならない。

要するに吾人は、サンパウロを愛し且つブラジルを熱愛する爲めに言ふのであるが、言論の爭ひは言論を以て解決することを自覺し、よく／＼の事でない限りは干戈に訴ふべからざる事と州と州との親善關係を濃厚にし離間中傷の入るべき餘地なからしむ事とを望みたいのである。

リットン報告書と

……獨逸の諧調……

獨逸言論界一般に言はせると、リットン調査報告書に對し日本は一の對策を提出するだらうと云ふことである

基督教團體の機關紙は、「全世界に抗立する日本」と云ふ表題の下に論じ、デア・ドイッチエ紙は「日本によつて滿洲に於て演ぜられたる一喜劇」なる題下に書き立ててゐるが、兩者とも日本と支那とが一緒になつてやつた事は結局世界中の喧嘩をひき起す基因に外ならないと云ふ點で一致してゐる

ケルニッシエ・ツアイツング紙が一番激烈な言葉で大いに論じてゐるが、日本については、太平洋の覇權を要求せんとするものであり、極東に於ける市場から列國を追ひ拂はうとする魂膽があると斷定してゐる、要之、『日本は言はゞ眞の國家主義帝國主義の好例である、ヴラジヴオ・ストークからフキリッピンにかけてその卓拔の陸軍と海軍を擁して完全に覇を握るであらう、乍然、支那はその壓力を以て完全に此の日本の尊敬すべき計畫を書餅に歸せしめるであらう、支那は今日明かに、何者をも威武を以て屈する能はざる事を示した』と論じ更に進んで

今日吾人の見聞する限りでは支那も日本も決して共產主義の影響下には無い、斯かる言を爲すは消極的抵抗を以て積極政策をなすものであつて、例へば、最に日本が南京政府に向つて軍事行動を執りたる際の如きである、かくして優れたる農業國としての支那は長く工業國日本の第一線としてその販路を提供する結果になる

と結論してゐる

嘗ては梟雄カイゼルの下に帝國主義的侵略を夢み、今日は共和の假面の下に國粹を主張し、或は軍備均等を主張して軍縮を嘲弄し、或は科學的產業立國を試みて世界を畏怖せしめ、英佛をして伊露を制せしめ、戰債問題を提げて以て世界經濟統制の再建に資せんとするなど、端睨すべからざる彼れ、獨逸と赤露の態度こそは英米のそれにもまして日本としては注意を怠つてならぬ所と確信する

新軍政長官 ワルドミロ將軍

……その抱負を語る……

六日着任せる聖州新軍政長官ワルドミロ・リマ將軍は第二軍團本營に於て、ディアリオ・ダ・ノイテ紙記者と會見、就任に際しての抱負として左の如く語つた由である、以下はその大要

禁錮中の軍人は釋放

目下禁固中の護憲軍々人に就ては釋放する事に決定し目下その手續を取りつゝある

各行政官廳の代表は

在任中は各行政官廳の任命はやらない、現在の各省局長連に精々勉强して貰ふつもりだ、仕事は覺えて了ふと誰でも能率も上り整理もつけられるものだから現任の人を動かす事は損だ

檢閲は止める

言論の自由は大賛成、だから新聞、電話、電信、郵便の檢閲は廢止するやう命じておいた

新聞も好きな樣に種々な問題を批判したらいいだらう、が州の統制を擾亂するやうな事は避けて貰はねばならぬ、若しそのやうな事があつたら斷然嚴罰を加へる、敢て新聞社の閉鎖をも辭せないつもりだ

戰費はどうする

變亂中聖州政府の爲した支出の調査研究を行ふ爲め專門家三名を以て委員會を作るつもりで居る、その監督には州大藏省の總務局長と自分とが之に當るつもりだ、勿論今度の變亂について正確な數字を知る爲めであつて、之が判明した上で、支出未濟の分に對して方策を講せねばならぬと考へて居る

州警兵を減員する

自分は各部の必要に應じて夫々警兵隊員を分遣する積りであるが、現役兵が必要以上にあるやうに見られるから、實際に當つて見た上で必要兵額を決定し縮少を計る事とする、さうすれば豫算も今のやうに五萬コントスを超過するやうな事はあるまい

州の財政

大藏總務局長が來て事務上の話をして行つたが、自分は聖州財政の現狀を熟知したいと思ふし然る後に州政局の安定に資するやうな經濟的方策について協議したいと言つて置いた、かゝる仕事は仲々オイソレと出來るものではなく、相當の時日と研究とを要するものだと信ずる

所謂「護憲紙幣」

此の發行に完全な保證が出來てゐることは、先般大藏省の者や市内の銀行首腦部と會見した際正確な論據があるものと云ふ事で承知した、前州政府としては賢明なやり方と思ふ

官吏の任命

官吏は各々『畑』からは任命しないつもりだ、從つて周圍の事情止むを得ず任命を要する場合には適材適所主義により選任し決して情實によつて人に位置を與へるやうな事はしないつもりである

武器の回收

七日法令に署名して、ある期間を限つて未だ民間に殘つてゐる武器の回收を計る筈だ、右の期間終了後は違反者に對し嚴罰を以てのぞむつもりだ

軍政府本部

最後に、公務の都合上軍政府の本部はカンポス・エリゼオス官邸に移し第二軍團司令部の事務を本營でとらせる事にした、又一層民間との接觸を緊密にする爲、毎日官邸へ出かけるつもりで居る、今各省の局長連と時間の打ち合せをやつてゐるが、之は公文書の處理を圓滑にし公務の進捗を計るためだ云々

ペードロ・デ・トレード氏 遂に召喚を見る

時局急轉以來私邸にあつて運命を靜觀しつゝあつた前聖州統領ペドロ・トレード氏にも遂に審問の日は巡つて來た

去る六日クルゼイロに在るゴエス・モンテイロ將軍から聖州軍政府長官ワルドミロ・リマ將軍に宛て、前州統領ペドロ・トレード氏及びその閣僚をクルゼイロに送致すべき旨の電命があり、リマ將軍は即刻此等の高官に對し六日夜十一時特別列車を以て出發すべき旨通達した、特別列車出發定刻前早くもノルテ停車場のフオームは家族其他の見送人を以て埋められペードロ氏は家族の人々及び前閣僚に伴はれて出發少し前に到着、見送の人々と暫し別れを惜んだ、やがて定刻、列車は審問の地へさして靜かに動き出した、瞬間涌き起る『ヴイヴアー』の叫び、知らず何日の日再びヴイヴアーを以て迎へ得る？一行は一端クルゼイロに下車、同地に於てゴエス將軍の審問を受け更にリオ首府へ向ふ筈であると

聖州人の聖州

近く聖州出身文官の州執政官を任命？

七日リオ市の葡字紙バターリア紙の報ずる所によれば、聖州現下の情勢に鑑み、聯邦臨時政府は現在の軍政府を以て可及的迅速に秩序を恢復し時局を安定せしめたる後、文官にして聖州出身の執政官を任命し、各行政長官も同樣聖州出身文官を以て之に當つる事に決定、目下執政官の物色を行ひつゝある由

亦復 警視總監 ……交迭す……

警視總監ツルバル・ヴイラルヴア氏辭職し、後任としてマルデイロ・デ・ファリア少佐が任命された

ツルバル・ヴイラルヴア氏はワルドミロ・リマ將軍が聖州軍政府長官として着任するや直ちに將軍を訪問し、各警察の下僚全員の辭表をまとめて自己の分と共に之を將軍の手元に提出した處、警察事務は何等政治とは關係なく、且時局極めて重大であるとの理由の下に留任を勸告されたが、辭意頗る固く、遂に之を聽許するに至つたと云ふ、其の後任として最初文官方面に物色されたが適當の人物を見出し難く遂にファリア少佐の選任を見たもので、少佐は以前にも聖州警視總監として十ケ月間にわたり敏腕を振つた事があり、目下の情勢から見て適任だとされてゐる

エ大佐 再び警兵司令官に

中央政府より既に新聖州軍政府長官としてワルドミロ將軍の任命書任を見たので事變終熄後臨時に其の職にあつたエルクラノ大佐は、六日午後二時半政權を將軍に引渡し再び州警兵司令官の職に就任した、同時に自己の在職中聖州民が時局の拾收について多大の援助を與へられた點に關し、感謝に耐へぬ旨各新聞を通じて發表した

東西南北

露國

ウラル地方のヴツネツンスク・カチアリンスク縣で一大銅鑛が發見された結果、露國は間もなく銅輸出國になるだらうと、モスクヴアの諸新聞は大々的に報道して居る、此の銅鑛の發見によつて一大鑛脈が更にシベリアにまで續いて居る事が判明し、その精煉銅量は約一千万噸以上と稱せられアナ、ムクバ地方の北ローデシアに產する全量を遙に凌駕すると言はれ兩者を合する時世界銅產額中驚くべき高率を示すだらうと

英國

勞働黨大會に於て前大臣クラインズ氏の提出にかかる「軍縮と平和」に關する一決議案が採擇された、これによると平和に對する永久的保障は軍備撤廢によつて初めて達成せられる、その爲には如何なる國家と雖も軍備を擴充させてはならぬ、且世界大戰の戰捷者は決してその負はせられた義務を放棄する事は出來ないと云ふことになる此の決議は更に進んで北米合衆國の提唱したフーヴア軍縮三分の一案の根本原則と合致するものとされて居る、此の決議の討論に際してはヘンダースンの支持を受けた、彼曰く「ほんの一時的に軍備を縮少して一時を糊塗しやうと云ふ樣な心持では決して完全な有効な軍備撤廢を期待する事は不可能だ」と

佛國

獨逸が投じた爆彈「獨逸の軍備を列國と同等基準まで引き揚げさせろ」と云ふ要求は、遂に英國をして五列强會議を提唱せしめる迄になつて歐洲に於ける微妙な國際均等は再び累卵の危險に面したと稱せられて居るが、之に對する佛國の態度こそ見物と云ふべきであらう、巴里に於て噂さらるる處によれば、再開さるる五列强會議に於て佛國は斷乎として獨逸の要求―前述の如き―を峻拒する態度を毫も更ゆる事は無からうとされて居る、巴里の風評では英國外相サイモン卿と佛國首相エリオー氏との會見では、軍縮會議を暗礁に乘り上げさせてしまつた獨逸に對しては責任ある答辯を求めねばなるまい、と云ふ事に意見の一致を見たと云ふが、巴里の輿論は更にエリオー氏の抱懷する解釋を敷衍して決定的な解答を與ふべしとし、更に一伯林外交界の見解に從へば―到底獨逸の承容し難き程の、條件を提示すべしと主張してゐる、結局、エリオーは獨逸の要求を端的に巧く料理して終ふか、或は又何等か巧妙な方法を採つて佛國に同情を持つ小國側を操縱して問題の解決を計るものと見られて居る

壽府

の人々はソビエト、ロシア外交委員長リトヴエノフの往來に多大の注意を向けて居たが、彼は獨逸の軍備均等要求にも相當言ひ分があるらしく想像されて居たが急にゼネバを出發した事が人々の神經を苛ら立たせた然しゼネバでは未だモスカウへ歸つたのではなく多分パリかウヰーンへ赴いたのであらう、いやウヰーンでルーマニアの政府要人と會見し露羅不侵條約を締結するのであらうと信ぜられてゐる、壽府は今暗礁に乘り上げた軍備縮少會議と、何う取扱はれるか見當のつかないリットン調査報告書とを有つて始末に困つてゐる形だ

失敗に終つた革命の跡をかへり見て

兄弟喧嘩は繰返さぬもの（上）

谷譲三

一九三〇年の革命時は私は聖市の街外づれに住む葡語の一學生であつた、新聞紙上毎日公表せらるる陸軍省の戰報により官革兩軍の一進一退を地圖上に記號を附したりして興味本位に革命戰に對したものであつた。

所が此度の聖州革命戰は時恰も奥地農産物の出廻り季に際し、産地の方面に之が買附け旅行を續けてをつた關係上、此の革命戰が齎す苦杯は擧々物々に亘り遺憾なき迄に其の體驗を余儀なくされた、殊に各地の戰線は私の常に旅行する方面であつた爲め一層其の印象を深刻ならしめた、左に此の革命戰の一班を記して私の苦き體驗の紀念物としたい。

戰爭は最初セントラル鐵道線、それはリオ市と聖市とを連絡する中央幹線鐵道の一山間驛、レゼンドを中心とする地點に聯邦軍と聖州正規兵との間に戰はれた、それより日を經るに從ひソロカバナ鐵道イタラレー支線に依り、パラナ州の正規兵が聖州の裏門をグングン突いて來て、一時はソロカバ驛に近き小都會イタピチニンガ驛に迫つた、此方面はマトグロッソ州より急行した聯州正規兵に依りパラナ州境近く擊退したが、一方ソロカバナ本線なるシャバンテス驛とサルトグランデ驛間に突進し來たパラナ及サンタカタリナ聯合軍は、此戰爭の終り迄ソロカバナ鐵道本線を中斷し更に聖市に向つて進軍せんとする形勢を示し、又一方ジユワレス・タボラ將軍の卒ゆるミナス及び南大河州聯合軍は、ミナス州境を押し破り聖州フワゼンデーロの本據地なるカザ・ブランカ市及びモジ・ミリン市の兩方面へ進出して茲にモジアナ鐵道幹線を中斷し、更にミナス及びバイヤ聯合軍の一支隊はウベラバー市より大河を渉りてイガラパーバ市を占領し、漸次南下してリベロンプレート市を突かんとし、又別の一支隊はミナス州境に近きアンパウロ市に進出し、カザ・ブランカより南下したる一隊と合して長驅し、カンピナス市の北方十五キロ米突の地點に殺到し同市の攻落は單に時間の問題となつた、此外ミナス及びゴヤス聯合軍は屢々我移住地組合のチエテ移住地に近きマトグロッソ州の小都會サンタ・アンナ及びツレス・ラゴア並にポリビキア國と大河を隔てて相對するポート・エスペランサ等に遊擊軍を送り、神出鬼沒、聖州軍をして奔命につかるるの作戰に出でた

而して最後の幕はセントラル鐵道幹線方面に於て聯邦軍の本隊は總司令官ゴエス・モンテイロ將軍の指揮の下に各州選拔の正規兵はトンネル、セルベキラ、クンニヤ、クルセーロ、ロレナ等の聖州東北部に於ける大小の都市を攻落してガラチングッタ驛に出で、將に大擧して聖市に迫らんとした、聖州軍總司令官クリンゲル將軍が一九三二年九月廿九日午前一時ウエスタン海底電信に依り聯邦大統領ゼッリオ・バルガス氏に休戰提唱をしたのであるが、其際に於ける聖市に最も近き戰線は左の通りであつた。

一、カンピナス戰線（聖市より百キロ米突）

二、ガラチングッタ戰線（聖市より二百キロ米突）

今聖州軍敗戰の跡を尋ぬるに、伯國の革命に附物なるイシドロ將軍を押し立て州執政官ペドロトレード氏及び聖州民主黨の首領モラット教授等の人々が、數ケ月に亘りリオに於ける臨時大統領ゼッリオ・バルガス氏に對する伯國憲法の即時復活の交渉捗々しからざるに業を煮やし、此の上は軍事行動に依りゼッリオ大統領及びこれが擁護の一團たる十月三日黨を撲滅して伯國に一日も早く憲法政治の光明を齎らさんと雄々しくも決意して起つたのが、今度の革命の眞相であつたのだ。

謹啓

陳者今般事變突發するや其の時局の重大性に鑑み爰に伯國赤十字後援の爲め邦人有志蹶起邦字諸新聞後援の許に日本人赤十字後援團を組織し事務所を聖市蜂谷兄弟商會内に置き爾後犧牲的努力を續け來り候處今度愈事變も終結致し候に就き自然本團も解消こ相成候段御通知申上候就ては事業成績は別項報告書通り非常なる好成績を收め愈吾々邦人の眞價並に聲望を伯人間に高め候事は一に寄贈者並に統制ある諸團體各位の熱誠にして理解ある御援助に依るものに御座候茲に更めて奉感謝候　敬具

昭和年十月七日

聖市　赤十字後援團

寄贈者各位殿

赤十字後援團取扱 金品寄贈總計報告

（地方的に直接寄贈の分は含まず）

現金拾七コントス四百貳拾壹ミル貳百レース也

穀物並に雜左の通り

白米	四百貳拾四俵	豆	四百七拾五俵
ミリヨ	參百九俵	馬鈴薯	百卅九俵
アメンドイン	六拾五俵	バタタドーセ	七俵
大豆	貳俵	珈琲	貳俵
ピポカ用ミリヨ	壹俵	マンジオカ粉	四俵
フーバ	壹俵	小麥粉	壹俵

計壹千四百參拾俵

バナナ	貳貨車（壹千房）	ピンガ	貳白立
毛糸製襟卷	貳拾九本	ピシノール	貳打
ガーゼ	壹キロ	砂糖	貳俵
マカロン	壹アローバ	バーニャ	壹箱
鷄卵	壹箱と參拾打	フランゴ	六拾四羽
レイトン	五頭	モランゴ	廿八・半箱
トマテ	貳箱と四籠	野菜	拾袋
リモン	壹袋	エルビリヤ豆	拾立

（以上昭和七年拾月六日締切）

聖市　赤十字後援團

伯國赤十字へ 金品寄贈者名芳

（直接寄贈四回續き）

金五ミル宛　上原直光　山里智盛　長濱文政　宮城賀明　又吉眞加良　與座盛祿　無名氏　金城龜　久原幸三郎　與儀憲龜田場盛權　比嘉良治　竹内兼吉　吉里南仁　野原龜次郎　知念善助　玉那覇鍋具志堅古助　眞境名武太　知念宗吉　當間重藏　島袋完法　古我知平六郎　新垣蒲戸　伊禮正文　古波藏嚴　金城德　南佐平次　宮岡通生　吉見音松　竹内健太　比嘉清文　勢理客龜　具志堅小樽　與那嶺義助　仲里蒲助　翁長次郎　上原直義　柵原元　菊地與惣兵衛　澤砥精彥　與儀三郎　四釬仲里眞次　三釬宛翁長宇志　渡久地政善　原百太郎　島袋龜助　石原睿幸　島袋三良　屋宜盛德　永村龜　田端眞次　知念守助　無名氏　神山親　野原龜太　二釬也湊川孟良　屋嘉部蒲　波多間實　吳屋善德　島袋仁和

△ソロカバナ線セルケーラセザル驛第一モンソン植民地日本人會

屆先聖市デパルメメントデドナツナーボス（赤十字經由）

五十ミル平田滿　三十ミル小池田千寛　二十ミル宛山下秋平　窪田耕　東勝治　長井與茂太郎　十五ミルあて平田作治　石井茂八　本田〆吉　荒木豐男　十ミルあて合田百太郎　中田肇　淵清二　高見澤馬之助　木内篤　横山亨　保田秀信　木内種雄　山下兵藏　酒井龜太郎　勝又晴義　田中源七　山極正人　二本松年治　植田金義　佐藤一眞　内山善兵衛　田中寅松　高木鐵三郎　寺岡萬藏　安里永守　木村勘太郎　惣角令三郎　福島用右衛門　木村壽一　堀尾留吉　小林英五郎　五ミル宛鈴木義昌　齋藤清次郎　阿部喜平　今信一德　仁井雛藏　上野安太　小島久吉　坂口仁四郎　福田初五郎　内野三藏　内野餓次　島鶴市藏　三ミル蒔田小市

計五百五十ミル右金を以て豆二十俵購入寄贈す

赤十字團扱（第九回）

（第八回は「壹」にて終り）

△ノロエステ線リンス驛

金四十四ミル　タボカール耕地在住者

金四十四ミル　リンス中央日本人會扱

金四十二ミル　サンタアメリカ青年團扱（第二回）

△ソロカバナ線パラガス驛

計壹百貳拾六ミル也

受取金壹百六ミル也

白米三俵　豆二俵　サントアントニオ耕地在留者　世話人　龜甲保

以上を以て本團受付寄贈者芳名完了

（昭和七年十月六日）

赤十字後援團

北米式 無投藥治療

眼病（視神經痲痺）偏頭痛。神經痛一般。慢性胃腸。痔疾。內臟諸病。筋違。月經不順。皮膚病。マルクス式淋病根治。其他醫藥に効なき難諸病。紫外線科。ヂヤテルミー科。電氣療法。太陽光線科

北米物理療法醫 大村熊之允

聖市コンデピニヤール一五旭旅館より二軒隣

▼慢性諸病根治　▼遠路御一泊實費　灸日毎土曜日　藥湯を立升

やいと　原博士の灸法と家傳灸

聖市サンタナ驛前四一基牛販上

フランシスカ・ピーブ街五五

郵函聖市2308　牧翁灸療所

肺病 自宅治療根治

仁壽灸 實費

NIPPO-BRASILEIRA
CLINICA DENTISTA

齒科醫

日伯齒科醫院

村上眞市郎

電話…二－三〇二九

聖市コンデ・デ・サルゼダス街一〇（中矢商店の前）

仕立裁縫並教授

◇短期間に流行婦人服並子供服のお好みのフイグリーノ通り御自由に御仕立裁縫出來る樣御親切に教授致します

◇教授時間…晝間部…夜間部

◇尚最新型婦人服並子供服一切丁寧にそしてお安く致します

聖市コンデ街五拾六番（フンド貳番）

釘宮操子

食料品及雜貨販賣

雜穀類委託販賣

上原商店

サントス港

ラルゴ・デ・セッテ・セツテンブロ一六番

電話－一八〇四

大阪商船切符仲次所

御旅館 成功館

サントス港 古謝將義

Rua Senador Feijó, 324

Telephone, 2008 Santos

乘船切符仲次所

ホテル 平和

サントス市

プラッサ・ジョゼー

ボニフアシヨ 五壹

電話 壹七六五番

仲村渠三郎

CASA TOZAN

MIZUKAMI & CIA.

COMMISSARIOS

Praça Mauá, 25 — Caixa Postal, 911

Telephone, 2837 — Endereço Telegraphico "TOZAN"

SANTOS

サントス市

珈琲コミサリオ

カーザ東山

ミツカミ・イ・コンパニア

郵函…………九一一號

電話セントラル二八三七號

電信略號「ＴＯＺＡＮ」

弊店取引方法は御照會次第御回報申上候

古老は語る 金儲け話

不況時に金儲けはないものと諦めるのは下の下、この不況時には朗らかに達者に暮すのが何より上々の分別、それ自體が既に金儲けでもある

買ひ物にしても品物の確かな値段の安い優良品を手數のかゝらない親切な店で買ふ事も金儲けの秘決の一つ………

○平凡なありふれた品なら

○どこのお店にもありますが

日本直輸入の食料品、化粧品、小間物、賣藥、金物、書籍、雜誌、種子物、其他文房具、玩具、紙製品、皮製品メリヤス、呉服太物等々百貨の御用は是非弊店へ

サンパウロ市コンデ街一五Ａ

中矢商店

郵函 二九九五番

電話…二－二二〇七番

意外な好成績を收めた 赤十字後援團

事變に直面して誠意を現はせしは感謝に價す

今から丁度三ケ月前の七月十日未明に聖市に旗揚げした護憲運動に對し在聖州邦人が何かの形に於て隣人愛の赤誠を現はしたいとして起つた在聖市の有志は僭越ながら在聖州及び隣州邦人全體の名に於て同月十六日邦字新聞社後援のもとに**赤十字**後援團を組織し急遽檄を飛ばし且つ新聞紙上に公告すると共に後援團の主旨を徹底せしむべく社説に或は雜報に審立てたのであるが、是れに依り邦人の博愛心は勃然として起り、之に加ふるに各地の日本人會、青年會及び其の他の團體が援助して日本人の博愛心を示すは此の時なりとして**金品を**續々寄贈する事に依り伯國官民の感謝となり、其の量と額とが本紙二面に報告の如く非常な好成績を示し玆に革命終熄と共に赤十字後援團の金品取扱も締切となりたるが、今度の此の事變に於て斯くも美くしい犧牲を拂へる同胞諸氏並に團體に對し後援者たる弊社は滿腔の謝意を表せざるを得ないと同時に、殆んど三ケ月間同團を代表し且つ事務所を商會内に置き店員を督勵して晝夜金品の取捌きに**努力せ**る蜂谷專一氏に對し其の勞を謝すると共に此の奉仕的赤十字後援事業の成功裡に始終せるを一般同胞と偕に喜ぶものである

金二パーセント税と…… ボーヌス回收策と

聖州軍政府長官ワルドミロ・リマ將軍は近くリオ首府に赴きゼツリオ大統領と會見、聖州統治上極めて急を要する諸問題の解決につき協議を爲す豫定であると言はれてゐる、右の緊急問題として數へられてゐるものは、今回聯邦政府がサントス港を經由輸入せらるる商品に對し一律に賦課する事を決定し、既に法令の發布施行を見たる入港税金貨二%を更に一ケ月間その施行を延期せんとする件と、聖州前政府が軍費として發行した所謂護憲紙幣ボーヌス四萬コントスの回收に保證として四百萬袋の珈琲を擔保に供し以て金融を計らんとする件とであると言はれてゐる、尤も金貨二%税は一ケ月前後の延期を見ただけでは一般輸入業者に對する打擊甚大なるものありとして、去る八日輸入業者組合の名を以てワルドミロ將軍宛請電を發し、之を九十日間延期するやう取計はれたしと申入れたる由、又、珈琲を擔保とする金融は『伯國銀行』を通じて之を行はしめ、漸次ボーヌスの回收を計らんとするのがワルドミロ將軍の意嚮であると傳へられてゐる

新補助貨を ——發　行——

聯邦政府はサンヴセンテ建設四百年祭紀念として、新補助貨の發行を計畫中であつたところ、此程二銒銀貨及び一銒、五百レース、四百レース、百レースの鋼貨及び白銅貨が出來上つたので來週頃より市場に出すことになつた由

MMDC 在庫物資を 孤兒救濟會へ寄贈

曩に聲明書を發して解體を宣明し聖州軍政府に引取方を要求しつつあつたM、M、D、Gでは六日本部で幹部會を開き、後始末について協議を重ねたが、一般よりの寄贈による物資の在庫數量は之を全部『孤兒救濟會』に寄贈する事によつて處分を計る事に決し、七日孤兒救濟會長シルバ・ボルト氏に對し其の引き渡しを終つた由

護憲派將帥 其後の動靜

△イジドロ將軍……去る七日午前六時リオ市サン・フランシスコ・シヤビエル驛に下車、アランニア將軍の出迎を受け、直ちにペドロ一世號へ赴いた

△前サントス港司令官クリストヴアン・メーロ・デ・マツトス大佐も同樣ペドロ一世號に抑留さる

△曩に逮捕されたミナス護憲派首領アルツール・ベルナルデス氏はリジオ島に監禁されてゐる

△リジオ島に監禁されてゐるボルゼス・メデイロ氏はアルゼンチンの有名な材木商ソツト・マイオール商會主アントニオサウザ氏に對しその援助を感謝し安樂椅子一脚を支給して貰ひたいと依賴したる由

滿洲を中心に 日米戰爭

露紙は斯く言ふ

赤露中央機關紙『プラウダ』は國際政局に言及した序に滿洲を中心に日米戰爭が勃發すると豫言してゐる、それによると

日本が滿洲國を承認した爲、日米間の關係は更に一層困難を增して來た、從つて華府政府は列國を誘つて、日本帝國に當らんとつとめ、以つて日本の孤立をはかつてゐる

と論じ、

合衆國は現下の時局に處する爲、直ちに出來得る限り太平洋方面に留意し、比島、ハワイ群島、特に眞珠灣要塞の築造を急ぐであらう

と米國の戰備を指摘し、又、

太平洋問題を繞つて日佛は必ず同盟するものとみられてゐるが、之こそはアメリカが一擊を加へんと待構へてゐるものである

と評し、更に、

英國は支那問題については暗に日本を援助するであらう、何となれば英國は支那の分割には多大の關心を持つからである

と結んでゐる

日本と壽府へ 鮑觀澄と程之遠

……滿洲國使節を送る

新任滿洲國駐日大使鮑觀澄氏は去る六日宮中に參内、信任狀を奉呈し、優握なる御諚を賜はつて退去した、氏は今日迄ハルビン市政管理處長だつた人である一方、現黑龍江省長代理程之遠氏を政府代表として、日本人顧問と共にゼネバへ派遣し、來るべき總會に當つて滿洲國に關する問題に備へしむる事となり、使節一行は暫く露都モスカウに滯在したる後ゼネバへ赴くと

日本の いろく 姿

◇山本內相は、警察官の政黨化を排擊しその本來の面目を維持する爲、警官の軍隊化を企案してゐると云ふ、警官の素質は世界一の筈だが

◇小型テレヴイジョン(送影機)が遞信省技師曾根工學士の手で發明完成された、之で家庭化へ一步近づけたもの、發明日本の心强さを感じさせる……

◇未曾有の農村窮乏で學費の支給杜絕、都會に遊學してゐる農村子弟は或は就學を斷念し、或は學資を求むべく就職を希望する者激增し、思はぬ方面から就職戰線に一大異常を來したと云ふ

◇その反對に本年度諸學校卒業生の就職率は依然良好とは言へず、各大學卒業生は一一、〇一〇名の內就職者僅に三、八四〇名、三四、九%、專門學校卒業生一九、九五一名、就職者八、〇六二名、四〇、四%を示すに過ぎない

◇あまり幅を利かせすぎた百貨店へ、營業種目の制限、所謂不當廉賣、過當サーヴイス、商品券發行制限等の痛いお灸を商工省から据へられて、結局商業組合法に基く百貨店組合結成に急でゐると云ふ、自制するつもりで居るらしい

◇七年度に於ける赤字公債は既定額一六六〇余萬圓と合して三二二五七萬圓余に達するが、それでもまるで燒石に水をかけたやうなものだと云ふ

◇農村及商工業金融の爲め、在來の勸業、興業兩特殊銀行を合併して强力な一大金融機關を作らうと云ふ案が、日銀あたりで眞面目に研究されてゐると云ふ

序にブラジルへも一つ……

▲米價落調を續け當限廿圓を割り込んだのが七月の末、それに恐れを爲して政府でも至急對策の必要を感じ、植民地米の管理を考へ初めた、蓋し泥繩か

▲農村を救へ！　このスローガンの下に一町村一組合を標望して産業組合運動は再生しやうとしてゐる、農村は組合を要求してゐるのでは無い、組合の精神がほしいのだ

▲ブラジルの珈琲を海中に投入する寫眞を揭げて、勿體ないが恰悧なやり方と書いてゐる新聞がある、いくら安くても米を海へ棄てる事の出來ない所に、日本の惱み、農村の惱がある……

▲日本の姿は何を見ても今一大轉機を求めて止まぬ形だ、滿蒙から日米へ……想像される事だが、兩國とも輕くは動くまい、米國ではハースト系の新聞が揃つて口を緘し筆を止めてゐる、日本の現在の姿を見るとき、そこに眞の滿洲國必要の程度が判明する、所謂生命線が……

平野植民地 日會定期總會

去月第一日曜日旭小學校に於てノロ線古參植民地たる平野植民地日本人會にては定期總會を開催重要協議後役員の選擧を行へるが當選者顏觸れ左の如くである

會長佐藤勘七　副會長今村惟喜　會計藤原武太郎　學務實森一郎　同山下定次　評議員三好吉一郎　同鍋島寅吉　同前田市藏　同平川敏一　同保坂啓太　同緒方メ吉　同山本長二郎　同緒方嘉作　同吉崎敏男

ピントール一名至急入用
(但し經驗有る方)
詳細は左記へ
カーザ廣島
Rua Conçolação, 284 S. Paulo

日本人諸姉にお馴み深い Mme Orga は永い間の病氣で一時閉店しましたが全快したので再び Rua Liberdade, No. 15 に店を開けました御婦人帽子は何んでも取揃へ値段も一倍勉强しますから倍舊の御引立を願ひます

YAMA-K. SHOKAI
SHIP-CHANDLERS
Rua General Camara, 133 SANTOS
大阪商船株式會社
國際汽船株式會社
御用達
各艦船食糧品賣込業
ヤマK
合資商會
小淵友市
前田京一
南米サントス市ジエネラルカマラ街一三三
電話セントラール一四七

増補訂正第三版の
殘本僅少
明日と云はず今日今直ぐお求めをお勸めする
現下の財界不況に目覺めた同胞は將來經濟的基礎の確立を期せねばなりませぬ、而して吾々の手腕力量は葡語に據つてのみ表現し得る、此の時に當つて本社編纂の葡語講習錄の存在をお忘れなく。
伯剌西爾時報社編纂
改訂 ブラジル語講習錄
送料共 二十ミル
若き諸氏よ葡語獨習書として迷はず本書を撰擇されよ。
本書は葡語のイロハから初まり文法、商業文、公文、書翰に至るまで極めて解り易く説明してある上に附錄としては日伯兩語の病名、藥名及び使用法イロハ順で列記し且つ吾々に最も必要なブラジルの法律規則及び慣例の大體を邦文に譯して日用の便に供へてあります。
發行所 伯剌西爾時報社
發賣所 伯剌西爾時報社、同リンス支社、プ・プルデンテ支社、聖市 瀨木、羽瀨兩商店

櫻井忠温氏著

古賀聯隊長（六）

……錦州にて……

「銃劍は耕す」より

1、涙しつゝ（つゞき）

風がピユー／＼と野の上を唸つてゐる。土埃が地をなめるやうに匐つてゐる。

列車から降りた師團長は、小さい石塀の上に立つた。塀の反對側に傳騎が馬を寄せて何事か幕僚に報告してゐる。

やがて又動き出した。旅團と列車とは、合ひつ離れつして進んだ。歩兵隊や砲兵隊が何處までもつゞいた。

掃除をしたやうな綺麗な塹壕が、大凌河の側につゞいてゐる「東北軍の將士一度怒りて立てば、百萬の日本軍鎧袖一觸のみ諸君の奮闘を望む」と學良が命令したのも昨日のことであつたそれがとう／＼怒つて立たないで、ゾロ／＼と退いてしまつた砲彈型の塔が見えたと思ふと列車は錦州驛の中に滑り込んで行つた。

列車から降りた人々は、手を高く／＼擧げて萬歳を叫んだ——目に一つぱいの涙を湛へて。

2、東北の風

師團長は列車から下りて靜かにあたりを見廻した。

私はその顔を凝視しながら、列車にあるときの顔も、占領地に入り込んだ時の顔も、その同じである落着きさに驚いた

師團長は驛を出て、破れた柵の間から拔けて、前の大きな家の中へ這入つて行つた、

そこは英國煙草會社のあつたところで東北邊防軍の出店を置き、昨日まで柴シンが錦州軍の總司令官として腰を下してゐたところである。

屋敷の庭に土が小山のやうに盛り上げてある。見ると一方に狐のくゞるやうな穴が作つてある。日本軍の飛行機が來たとき逃げ込む穴なのである。

柴シン等がプロペラの音を聞くと机や椅子を蹴散らしながら、逃げ込んだ姿が目に見ゐるやうである。

知縣が公安局長（警察署長）と一緒にやつて來た。師團長は知縣のみを部屋に引き入れた。知縣は學良軍に引きづられて行くところを、やつと逃げて來たといつた。

「大帥」の宗哲元の行方がわからないといふ噂がたつた。昨日密偵と一緒に出て行つたきり、姿を見せないといふのであつた。テツキリ城内で馬賊か支那兵に捕へられてゐるに違ひないといふものがあつた。

◇トラホームには【タカ點眼藥】

私は折田君を通譯にして、公安局長に「日本人が城内で捕へられてゐないか」と尋ねたが、「ゐない」といつた。「よく探してくれ」といつたら「きつと探します」といつて歸つて行つた。「私の家に餓砲を×挺支那兵が置いて行きました」などといつて、屆け出でるものが續々とつゞいた。見つかつて支那兵や馬賊扱ひにされては困るからと思つてゞあらう。

私は師團司令部の隣の家へ入つて行つた。そこには新聞記者が蟻巣にかたまつてゐた。支那兵が逃げた後の家らしく、軍帽がそこゝに散らばつてゐた。

私達は支那馬車に乘つて城内へ這入つて行つた。依田少將の旅團が馬賊を討伐してゐる中を城内には日章旗が門並に樹てゝある。旗を樹てゝあつても門は閉めてある。

慢性諸病ヲ根治スル針灸マツサージ電氣療法殊ニ神經痛婦人病等
リンス市九月七日街八〇
川原物理療院
（下矢鐵工所ノ前）

若い女がたゞ一人門口にたつてゐるのもある。手拭くらゐな日の丸を書いたものもある。四五日前から仕度できてゐたのか、ミシンで日の丸を縫ひつけたのもある。

城門はくづれかゝつてゐる。屋根には丈にも餘る枯草が生へたまゝになつてゐる。アーチ型の門の側に「哈德門」といふ煙草の看板がなま／＼と貼られてゐる。

プロペラのうなりが聞ねた。仰ぐと銀色のフロートを輝かせつゝ海軍機が町の上を滑つて行つた。どこから來たのであらう。

○家傳名灸針
カツケ、リウマチス、婦人病
婦人病は特に永年經驗有り
リンス市セラ・アメリコ
カーザ・プリメイロ
（下矢鐵工所の前通り下る）
村井ときわ

鐵兜が町へ流れ込んでゐる。角に立つて、通るものに大きな目をみはつてゐるのもある。

町の眞中の鼓樓のあるあたりは、鐵兜で一ぱいにせり合つてゐる。

錦州！ 錦州！ あこがれの錦州も來てみれば、たゞの小さな田舍町に過ぎなかつた。

清が明を亡ぼしたのも錦州であつた。金も錦州に決戰した。東北から來るものが常に支那を征服した。東北を鬼門だといふのも、かういふところからであるかもしれない。

この日東北の風に乘つて、日本軍は錦州に最後の楔を打つた。

法律相談
Rua José Bonifacio, 12, 2.a sobreloja Tel. 2-3476, C.P. 1757 S.Paulo
面會 午前十一時より 午後五時まで
サンパウロ法科大學教授 辯護士 ペンプレ
法學士 東京帝大 辯護士 牧義朝
◆法律相談は無料但返信の場合は二百レース切手封入のこと
▲呼寄證明取扱（各縣共）
▲軍事徵發に對する損害賠償取扱

町の角々に張學良の貼紙の破れが殘つてゐる。「夜間若有飛機到來、須將燈火熄滅……」だの、東北邊防軍司令官公署特派駐領、臨時軍警督察處佈告といふ長々しい書き出しで「日本派來多數便衣隊、潛伏西安城內約期、暴動殺害華人」—「日本便衣隊に氣をつけろ」といふ觸れを出してゐる。

CASA FOTOPTICA
Agfa Kodak Voigtländer Hauff Zeiss Ikon
SÃO PAULO - RUA SÃO BENTO, 45

古賀聯隊長が隊の先頭に立つて續つて來た。

「これから何處へ？」

「山海關の方へ出かけます」

「御機嫌よう」

「やつて來ます」

聯隊長はニコ／＼カにかういひながら進んで行つた。

私はいつまでも／＼その馬のあとを見送つた。

大日本雄辯會講談社長 報知新聞社長 野間清治著

榮えゆく道

體驗が生んだ血と汗の結晶!!

萬人が萬人悉く感激！

特に苦勞人、世情に通じた人程大いに感嘆

成功繁榮の道、事業興隆の秘訣！

一言一句悉くに著者の血が滲んでゐる！

本書は前の四著と趣を異にし、日常茶飯の事柄を對象として、眞劍なる工夫を凝らし、一人一家の道より說き起して、遂に社會國家にまで論及したものであります。

苦心研究の斷案！

慘憺錬磨の徹悟！

「よくこれ迄思ひ切つて發表したものだ」と驚く率直熱誠一々讀者の胸に強く響くものがあります

一面からいへば、之は野間社長の一種の事業記錄、人生記錄であります

直ぐ實生活に役立つ。

古今無類の名著！

これを讀むと讀まぬとでは大變な相違

速かに御覽あれ！

必ず感歎！ 益多大！

「成功遲し急ぐこそこれが成功の秘訣だ！」

「成程これが人間を築き上げる本筋だ！」

「事業經營も上下融和もこのコツだ！」

「商賣繁昌も立身榮達もこの呼吸！」

「一家の幸福も一國の興隆も全く之だ！」

野間社長の話は、スグその日から實行し得るものが多いから、たつた一言でも「おゝ成程！ これだ！」と氣がついたり悟ることが出來るから、それ丈でも五十錢、一圓の値打は十分ある。それ故、本書は讀む人によつては、

正に千金萬金の價値がある

會社員、店員、官公吏、商工業者、教育家、軍人、事業家、特に人の上に立つ人、將來出世成功を望む人、又至誠愛國の人の一讀を乞ふ！

内容

●二十數年前の私 ●何れが先、何れが後 ●雨の日は雨の日の樣に ●何れが頭いか ●世の中の觀方 ●照り後晴れ ●忠恕 ●先づ五百圓 ●一萬圓の價値 ●金を融通する力 ●借りたものは返す ●是れでなければ ●才子 ●濡れ手で粟 ●努力と工夫 ●人を得る ●お互に氣持よく ●四つの錬磨 ●社內教育 ●一人の及ぼす所 ●頭の動き ●腹の問題 ●人の觀方 ●體驗の三段階 ●準備の重大性 ●事業始めの相談 ●調査研究 ●「キング」發行の準備 ●ビク／＼と畏縮 ●故障が起る ●回收の困難 ●物を良くする

●算盤の採り方 ●榮運か衆愚か ●物がものを言ふ ●職業と宮仕 ●勤務時間 ●社內最高の道德 ●主人の眼主人の耳 ●社員の優遇 ●お互の間柄 ●報告に就いて ●とゞの力 ●賴み方と賴り方 ●賴む時とお禮の時 ●賴まれた時の心遣ひ ●勸誘進め ●百度つゞけと言い人 ●これを樂しむ ●心意氣一つ ●ヒステリー ●協會社 ●辛苦通產 ●集團 ●大調和

定價五十錢（送料十四錢）

お早く御覽あれ◆發行所 東京市本郷區駒込坂下町四八 大日本雄辯會講談社